

第2期釜石市子ども・子育て支援事業計画の重点プロジェクトの見直しの検討について

1. これまでの検討経緯

釜石市子ども・子育て会議において、「第2期子ども・子育て支援事業計画」の3つの重点プロジェクトごとに作成した評価項目を設定しました。今年度の検討の経緯は以下の通りです。

項目	検討内容
令和3年度第1回	3つの重点プロジェクトの評価指標の設定について
令和3年度第2回	3つの重点プロジェクトの進捗状況の共有

前回の会議において委員の皆様方から重点プロジェクトの進捗状況を共有し、進捗が遅れているものについて確認し、その結果を踏まえて重点プロジェクトの見直しをし、来年度に向けての改善方法等を検討しました。

今回の会議では、見直したプロジェクトの評価項目等について委員の皆様からご意見を伺い、来年度に向けて重点プロジェクトを実行していきたいと思っております。

2. 重点プロジェクト見直し後の評価項目

前回の進捗状況等を踏まえながら3つのプロジェクトごとに評価項目を見直しました。

プロジェクト1：情報発信プロジェクト

(1) 将来像（5年後にこうなったら良いなと思う姿）

- ・広報の内容が充実している。
- ・LINEなどのSNSを活用して、細やかな情報を得ることができる。
- ・子どもがよく集まる施設に適切な情報が届いている。
- ・知っている人が情報をシェアし合えるプラットフォームの構築ができている。

(2) 指標と役割分担

① 広報紙の充実

■ 取組内容

広報紙に子ども・子育て支援ページを設け、子育て支援に関する情報を集約した形で情報を発信します。

■ 指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値（2年度）
広報に子育て情報を掲載した回数（子ども課・健康推進課）	24回	22回

広報に掲載した子育て情報の満足度	100%	アンケート調査実施
------------------	------	-----------

【取組指標】 ※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの。

指標名	内容
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報から他情報や多媒体に流れていく仕組みとなっている（ポータルサイトやLINE、ガイドブック、関係施設や関係機関のホームページ等の紹介をする）。 ・ 今は月1回の掲載であるが、毎号の掲載となっている。
掲載情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全世代向けの子育て情報が掲載されている（虐待や子育てサポートの情報など）。 ・ シリーズ化したコーナーが継続している。 ・ 写真やイラスト等を用いてわかりやすいデザインとなっている。 ・ 子育ての悩みQ&Aを掲載する（市民の質問を園の先生や医療関係者が答える等）

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報を見てくれる方を広めるため、「面白い内容である」ことを口コミで伝える。 ・ 広報の企画づくりに市民が入る（中高生記者等）。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と子ども課のつながりを作り、地域が行う子育て活動についての情報を子ども課に提供し掲載される。
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育保育施設と子ども課のつながりを作り、施設情報（各園の先生情報、コラム等）の紹介をする。
関係機関（医療機関等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と子ども課のつながりを作り、広報への子育て情報の掲載に向けて専門的な視点から協力をする。
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「取組指標」が実現されるようPDCAサイクルに取り組む。 ・ 市民からの意見を聞く機会を設ける。 ・ 地域が行う活動について、情報提供をしていただく仕組みづくりを検討する。

■令和3年度の事業実施状況

- ・ 月1回（毎月15日号）に「こどもはぐくみ通信」を掲載し、さまざま情報発信を行った。
- ・ 園長コラムの続きとして、「早寝早起き朝ごはんの啓発」「朝食レシピの紹介」「子育て応援企業」などシリーズ化したコーナーの記事を掲載した。

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・ 月1回「こどもはぐくみ通信」を掲載してきたが、来年度からは紙面の関係上、毎月の掲載ではなく3箇月に1回程度の掲載となる予定。
- ・ 広報の掲載記事は、お知らせや周知したい情報について特集を組む予定。

- ・毎月掲載していた、シリーズ化したコーナー（園長コラム等）については、釜石市のホームページやLINEにて配信する予定でいる。

②プッシュ型配信（LINE等）

■取組内容

子育て情報をプッシュ配信するための仕組みを構築します。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値（2年度）
釜石市LINEの友達登録数	累計 5,000人	累計 1,748人
プッシュ配信があつて助かったというエピソード	50エピソード	アンケート調査実施

【取組指標】※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
市民への広がり	・プッシュ配信が口コミで広がっている。背景として、「子育てに役立つ情報が得られるから、登録しないと損するよ」という感じになっている。
仕組み	・母子手帳にQRコードを付けて、必要な人は登録するようになっている。 ・プッシュ配信を通して相談できる、利用できる仕組みが構築される。
掲載情報	・今欲しい情報（医療、保育、教育、相談、UIターン情報等）が備わっている。

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	・SNS発信や口コミで周知する。・市民の持つ情報などを発信する。
地域	・地域と子ども課のつながりを作り、地域が行う子育て活動についての情報を子ども課に提供し掲載される。
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	・保護者にLINEを広めるため、チラシの配布を行う。 ・教育保育施設と子ども課のつながりを作り、施設情報等の紹介をする。 ・職員へのLINEの周知をし、LINE登録してもらう。
関係機関（医療機関等）	・関係機関と子ども課のつながりを作り、広報への子育て情報の掲載に向けて専門的な視点から協力をする。・相談対応の窓口となっている。
釜石市	・「取組指標」が実現されるようPDCAサイクルに取り組む。 ・行政機関以外の団体や個人の情報の集約をする。 ・情報収集のための環境整備をする（ハードや情報の使い方）。

■令和3年度の事業実施状況

- ・手当関係のお知らせと一緒にLINEの周知を図った。
- ・子育て支援情報（一時預かり、子育て支援センター、保育の受け入れ情報など）を随時掲載した。

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・コラムなど定期配信できるように検討する。
- ・LINEを登録してもらうために、教育・保育施設や保護者等への周知を図る。

③ポータルサイト作成

■取組内容

子育てポータルサイトを作成し、子育てに関連する情報を集約します。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値（2年度）
子育てに関わる人がポータルサイトを知っている。	100%	アンケート調査実施
子ども課関連ページのアクセス数（子育て・教育）	10,000回	7,662回
知りたい情報がすぐに出てくる（ホームページの満足度）	100%	アンケート調査実施

【取組指標】※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・プッシュ配信との連携がある。 ・市のHPや広報からの導線がわかりやすくなっている。 ・「釜石 子育て」と検索すると、知りたい情報（子育て、健診、施設利用、悩み相談、イベント情報など）が見つけられる。 ・各種申し込みまでスムーズに出来るようになっている。
掲載情報	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みQ&Aを掲載する（市民の質問を園の先生や医療関係者が答える等） ・写真やイラスト等を用いてわかりやすいデザインとなっている。 ・市が直接関わっていないものでも、外部リンクとして掲載されている（青空パーク等）。 ・園の行事などの情報をポータルサイトで一斉に見ることができる。 ・子育てに関連するイベント情報を掲載する。

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	・ SNS 発信や口コミで周知する。
地域	・ 地域と子ども課のつながりを作り、地域団体の情報を子ども課に提供し掲載される。
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	・ 保護者に広める。 ・ 教育保育施設と子ども課のつながりを作り、施設情報等の紹介（園の行事など）をする。
関係機関（医療機関等）	・ 関係機関と子ども課のつながりを作り、広報への子育て情報の掲載に向けて専門的な視点から協力をする。 ・ 関係機関の情報を発信している。
釜石市	・ 「取組指標」が実現されるよう PDCA サイクルに取り組む。 ・ 行政機関以外の団体や個人の情報の集約をする。 ・ 情報収集のための環境整備をする（ハードや使い方）。

■令和3年度の事業実施状況

- ・ 釜石市HPのから「子育て」情報の検索をしやすくするためにHPの更新作業中（令和4年度に向けて検討中）
- ・ LINEを活用し、釜石市のHPに掲載している記事へアクセスするような情報発信を行った。

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・ 釜石市HPの子育て情報について、広聴広報課と協議しながら検索しやすいページに改善する。
- ・ 地域や関係機関、団体などと連携し情報収集を行うための仕組みづくりの検討をする。
（もしくは、地域で行っている子育て事業の紹介をする？）
- ・ 外部サイトと接続できるような仕組みづくりの検討をする。（地域や関係機関のHPなど）

プロジェクト2：遊び場開拓プロジェクト

(1) 将来像（5年後にこうなったら良いなと思う姿）

- ・地域ごとに（学区ごと）公園がある。
- ・公園利用のマナーが良い。
- ・広い空間と美しい公園（トイレの整備）がある。
- ・利便性の良い公園（買い物のついでに）がある。
- ・安心して大人も子どもも過ごせる場がある。
- ・安心して遊べてランドマーク的な施設がある。

(2) 指標と役割分担

①新しい公園の整備

■取組内容

新たに子育て世代が集える公園を1か所整備します。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値（2年度）
子育て世代が集える公園の整備数	1か所	41か所 (復興事業により整備した公園)
市内の公園の満足度（アンケート調査）	100%	アンケート調査実施

【取組指標】※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
コミュニケーションが円滑な場所になる	・世代を超え、色々な人達が利用できる場所になっている。 ・親子が安心して遊べ、親同士のコミュニケーションの場になっている。 ・多世代での触れ合う機会がある。
施設整備と管理	・安全に安心して利用できるように整備と管理（遊具点検、花壇管理、見回り等）が行き届いている。 ・公園を活用したイベントが実施されている。 ・年齢に応じた遊び方ができるようになっている。
利便性	・利便性の良い公園になっている（駐車場の確保、買い物のついでに利用など）。

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> 公園整備のボランティアに参加する。（地区で行う清掃活動など） 子育てイベントを企画・実施する。 子どもの見守りをする。
地域	<ul style="list-style-type: none"> 公園整備のボランティアに参加する。 子育てイベントを企画・実施する。 子どもの見守りをする。 清掃活動などのボランティア活動の周知
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に情報提供する。 公園の紹介をするにあたり実際に子ども達と利用してみる。 子どもの声や保護者の声を行政に届ける。
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> 「取組指標」が実現されるよう PDCA サイクルに取り組む。 安心安全に利用できるように遊具などの点検整備及び公園の管理等を行う。 公園を活用したイベントの企画、実施をする。

■令和3年度の事業実施状況

- ・（仮）小白浜グラウンドへの遊具設置
- ・新しく出来た公園等の紹介を、広報やホームページにて掲載し周知を図った。

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・市内の公園を活用してもらうため、教育・保育施設等への公園の周知を図る。
- ・公園利用者の声を拾うため、保護者等へのアンケートを実施する。
- ・「自然遊び場事業補助金」の交付団体への公園活用の周知を図る。

②既存の公共施設の整備

■取組内容

既存の公共施設について、子どもや保護者が集い利用しやすくなるように整備します。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標名	目標値	実績値（2年度）
老朽化した施設や公園の改修数	4か所 (今後整備が必要な公園)	0か所
「赤ちゃんの駅」登録数	30施設	21施設
「赤ちゃんの駅」周知度（又は利用者数）	100%	アンケート調査実施
既存の公共施設の利用満足度	100%	アンケート調査実施

【取組指標】※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
施設設備と管理	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て家族が気軽に利用できる施設となっている。 ・トイレがきれいに整備され、駐車場も整備されている。
キッズスペース	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区生活応援センターなどの『赤ちゃんの駅』が利用されている。 ・公共施設にある既存の『キッズスペース』が充実されている。 ・子育てに関する情報が掲示、紹介されている。
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども（親子）が気軽に参加して楽しめるイベントが開かれている。

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・口コミで広げる。 ・イベントへの参加をする。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを企画、実施する。
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に情報提供する。 ・公共施設を利用した園行事の企画（園外保育、発表会等）や実施する。
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組指標」が実現されるよう PDCA サイクルに取り組む。 ・アンケートで市民の声を集め、不足していることなど実態を把握する。 ・地域の人たちも含め情報を発信する。 ・施設の利用しやすい環境を整備する（使用料等）

■令和3年度の事業実施状況

- ・鈴子広場復旧整備事業の実施

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・市内にある公共施設の周知
- ・教育保育施設や各地区で実施している子育て関連イベントの情報収集及び情報発信を行う。
- ・「赤ちゃんの駅」の利用実態等の把握（アンケート等）をする。
- ・児童館の活用について検討する。

③子育て支援センターの充実

■取組内容

全ての子育て支援センターを充実させます。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値（2年度）
子育て支援センターの相談件数	150件	119件
子育て支援センターの利用者数 （全体）	8,000人	4,801人
子育て支援センターの利用満足度	100%	アンケート調査実施

【取組指標】※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターの充実が図られている（施設、設備、環境、職員、活動内容、相談体制等）。 ・個々に寄り添うような多様な子育て支援のニーズに合わせた対応となっている。 ・働いている人も利用できるように月に数回、土日も開所している。
連携体制	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる子、保護者を関係機関で包括的に見守れるように連携が取れている。 ・子育て支援センター同士や保育施設との交流がなされている。 ・行事への取組などセンター内だけでなく地域との関わりも広げている。

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・口コミで施設の周知や、利用のメリットを拡散する。 ・積極的に利用してみる。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で子育てを見守っていくようにし、センター活動にも関わる（地域交流イベントの実施等）。
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に情報提供をする。 ・市内の子育て支援センターとの連携や交流を行う。（情報交換、行事への案内、園の施設や園庭の利用開放、合同イベントの実施等）。
関係機関（医療機関等）	<ul style="list-style-type: none"> ・センター行事で、保健師・歯科衛生士の講話イベントを開催する
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組指標」が実現されるようPDCAサイクルに取り組む。 ・HPへの掲載等（利用者の声など）の情報発信をする。 ・広報やLINEでセンター行事や利用者の声を発信する。 ・5か所の子育て支援センターの利用者が集まって行うイベントを企画する。

■令和3年度の事業実施状況

- ・各子育て支援センターにて、「ガイドラインに基づく自己評価」及び「利用者向けアンケート」を実施した。
- ・「ガイドラインに基づく自己評価」及び「利用者向けアンケート」実施結果について、子育て支援センター連絡会にて報告し情報を共有する。

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・現在の甲子子育て支援センターは、施設の老朽化により3月末をもって閉所する。4月からは、正福寺幼稚園にて子育て支援センターを開所する予定。
- ・子育て支援センターの取組内容を把握するため、市担当者の施設内見学の実施を検討する。
- ・子育て支援センターを活用した利用者向けの講座（市主催の講座）の開催を検討する。
- ・子育て支援センター職員の交流会の開催を検討する。

プロジェクト3：子どもと家庭を守るプロジェクト

(1) 将来像（5年後にこうなったら良いなと思う姿）

- ・子育て相談の場が充実している。
- ・幼児教育についての情報提供の場やツールがある。
- ・地域での子どもの居場所がある。
- ・気になる子どもを関係施設で包括的に見守れるネットワークがある。

(2) 指標と役割分担

①子ども家庭総合支援拠点の整備

■取組内容

子ども家庭総合支援拠点を整備します。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値（2年度）
子ども家庭総合支援拠点の周知度	100%	アンケート調査実施
子ども家庭支援員の配置人数	2人	0人
親子の交流スペースの確保の有無	有り	無し

【取組指標】※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
支援	・すべての子どもとその家庭を対象に、相談全般から専門的な支援までを行っている。
人材	・相談室や親子の交流スペースで相談対応をしたり、家庭に向いて相談に対応する社会福祉士やソーシャルワーカーなどの人的配置や採用、育成が行われている。 ・子ども家庭支援員が配置される。
連携	・子ども家庭総合支援拠点の専門職員と保育施設や学校がつながるようなシステムが構築されている。 ・子ども家庭支援員が関係機関と連携して支援をしている。
相談の場づくり	・保健師、相談員などの専門職に気軽に話せる場となっている。

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての不安や悩みを相談し、安心して育児を行う。 新たな支援拠点に望むことを発信する。
地域	<ul style="list-style-type: none"> 地域の関係機関と連携し、要保護児童等に関する情報交換及び共有、支援内容の協議や連絡調整を密に行う。
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	<ul style="list-style-type: none"> 保護者に対して、情報提供を行う。 保護者からの相談を専門相談員へつなぐ。
関係機関（医療機関等）	<ul style="list-style-type: none"> 要保護児童等に関する情報の交換及び共有、支援内容の協議や連絡調整を密に行う。
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> 「取組指標」が実現されるよう PDCA サイクルに取り組む。 子ども家庭支援員が行う業務の効率化や母子保健担当課及び地区担当保健師等と情報連携するためにシステムを導入する。 専門性を持った職員の配置、ボランティアの確保を行う（人件費の確保）。

■令和3年度の事業実施状況

- ・特になし

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・令和4年度中に子ども家庭総合支援拠点の整備を行うため、人員配置を行う。
- ・専門性職員が行う業務の整備及び事業の効率化を図る。
 - 子ども家庭支援員（保健師等）1名
 - 心理担当支援員及び事務処理担当職員（会計年度任用職員）2名
- ・相談しやすい空間づくりに取り組み、交流スペースを確保する。

②主任児童委員等の専門性強化と協力体制整備

■取組内容

地域で活動する主任児童委員等が、児童虐待に関する各種研修等へ参加することを促進し、虐待の対応をする関係機関の専門性を強化し、地域での児童虐待等の発見、通告の促進、児童相談所や市への協力体制を促進します。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値（2年度）
児童虐待に関する研修等への参加者数（主任児童委員等）	50人	—
釜石市への児童虐待通告件数	10回	20回
関係機関との連携件数（児童相談所からの後方支援回数）	50回	60回

【取組指標】 ※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待についての各種研修会を実施することにより、地域での児童虐待の早期発見・通告がなされている。 ・虐待に関する知識を有する人材が増えることにより、児童相談所や市と情報を共有するための連絡体制を促進することができる。 ・主任児童委員等の役割が市民に周知されている。
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・専門員と地域を結ぶシステムが構築されている。 ・専門員と幼児教育施設や学校を結ぶシステムが構築されている。

■役割分担（指標を達成するための役割）

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての不安や悩みを相談し、安心して育児ができる。 ・虐待への関心を持ち、研修に参加する。 ・主任児童委員の存在を知る。 ・児童虐待や貧困が疑われる家庭の情報を主任児童委員等関係機関に知らせる。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる家庭等があった場合、主任児童委員等に情報提供をする。 ・地域の広報等で主任児童委員等の活動のお知らせをする。
園（幼稚園、保育園、こども園、託児所等）	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に対して虐待防止に関する情報提供をする。 ・教職員（場合によって保護者も）が研修会に参加する。 ・児童虐待や貧困が疑われる家庭の情報を関係機関と情報共有する。
関係機関（医療機関等）	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童等に関する情報の交換及び共有、支援内容の協議や連絡調整を密に行う。
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組指標」が実現されるよう PDCA サイクルに取り組む。 ・関係機関と連携し、要保護児童等に関する情報の交換及び共有、支援内容の協議や連絡調整を密に行う。 ・児童虐待についての勉強や研修の場を設ける。

■令和3年度の事業実施状況

- ・民生児童委員に対して、「子どもを取り巻く社会の最近の動向」と題して研修会を実施した。

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・主任児童委員の役割及び活動実績について、市民、教育保育施設、関係機関等への周知を図る。
- ・児童虐待に関する各種研修会等を実施する。
- ・専門職員と地域、幼児教育施設や学校を結ぶシステム構築を検討する。

③児童虐待に関する市民への意識啓発

■取組内容

児童虐待に関して、市民への意識啓発を行います。

■指標（5年後に目指したい姿）

【数値指標】※数値として把握するもの

指標内容	目標値	実績値(2年度)
虐待に対しての市民への周知啓発回数	年3回	年3回
虐待に関する市民向けの講座の定期開催(累計)	累計10回	0回
児童虐待発生件数(の減少)	0件	14件
関係機関との連携件数(児童相談所からの後方支援回数)	50回	60回

【取組指標】※下記の記載内容が取り組んでいるのか把握するもの

指標名	内容
市民意識	<ul style="list-style-type: none"> 地域の中で、市民ひとりひとりの虐待やDVへの意識が高まっている。 虐待についての各種研修会が実施され、市民が参加して学ぶことができる。
学校での学び	<ul style="list-style-type: none"> 学校(高校等)でDVや児童虐待について学んでいる。
連携	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との連携がしっかりできており、虐待を受けた子どもの心のケア、居場所づくり、そして自立支援までのシステムが構築されている。
相談場所	<ul style="list-style-type: none"> 悩んだときに相談できる場がそれぞれ存在する環境がある。

■役割分担(指標を達成するための役割)

主体	役割
市民	<ul style="list-style-type: none"> 子育ての不安や悩みを相談し、安心して育児ができるようにする。 虐待への関心を持ち、研修に参加する。 主任児童委員の存在を知る。 児童虐待や貧困が疑われる家庭の情報を主任児童委員等関係機関に知らせる。
地域	<ul style="list-style-type: none"> 掲示板やポスター等の掲示をする。 孤立しやすい家庭を把握する(母子家庭や転勤族など)。 子育て世帯へあたたかい目を持つ。
園(幼稚園、保育園、こども園、託児所等)	<ul style="list-style-type: none"> 教職員(場合によって保護者も)が研修会に参加する。 保護者の学習会として虐待についての話なども取り入れる。 児童虐待や貧困が疑われる家庭の情報を関係機関と情報共有する。 虐待に関するポスターを園に掲示、保護者にはリーフレットを配布する。 園だよりや子育て相談などのおりに保護者啓発に努める。

関係機関（医療機関等）	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童等に関する情報の交換及び共有、支援内容の協議や連絡調整を密に行う。
釜石市	<ul style="list-style-type: none"> ・「取組指標」が実現されるよう PDCA サイクルに取り組む。 ・関係機関と連携し、要保護児童等に関する情報の交換及び共有、支援内容の協議や連絡調整を密に行う。 ・児童虐待についての勉強や研修の場を設ける。

■令和3年度の事業実施状況

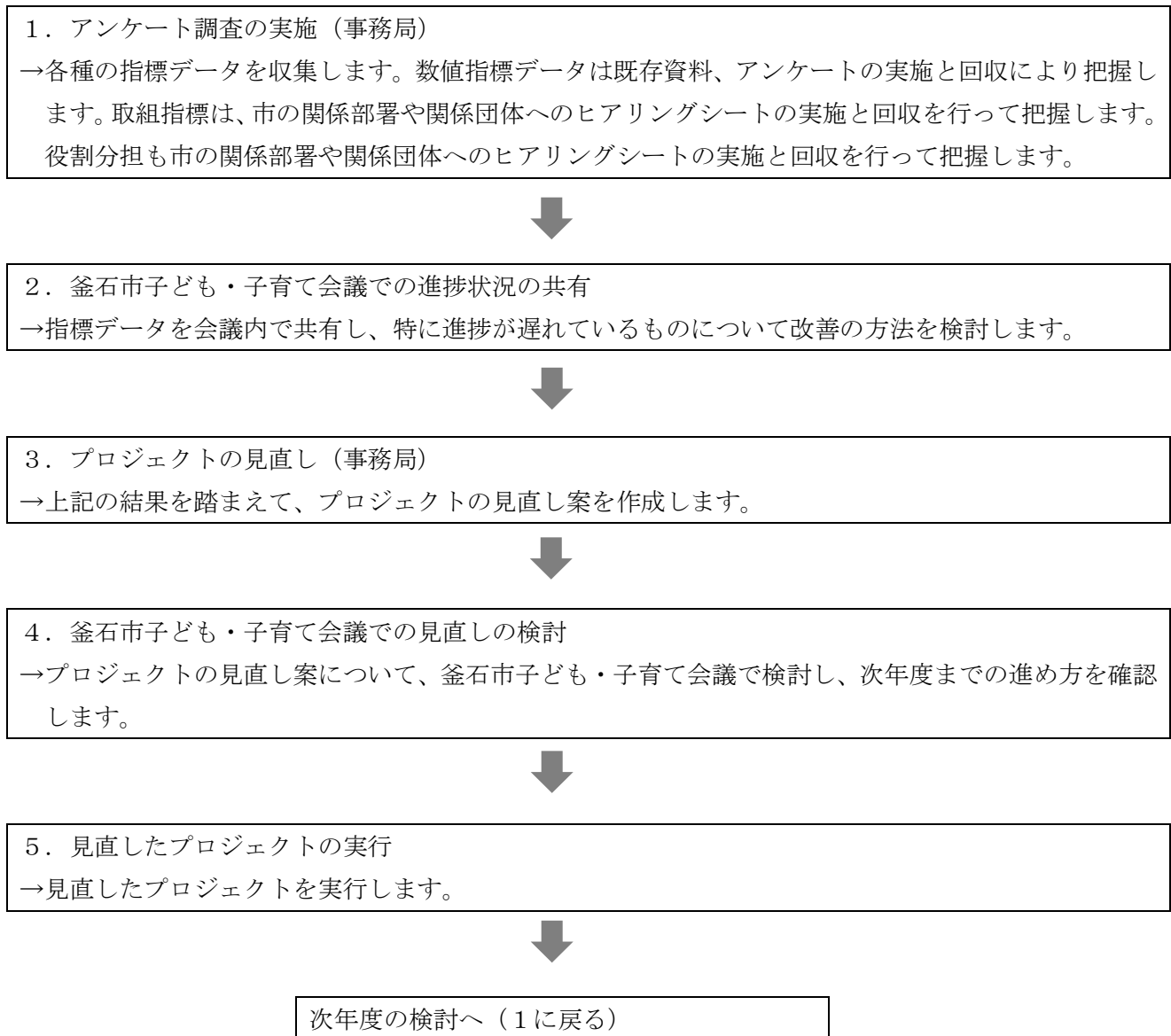
- ・児童虐待防止推進月間において、パネル展示や関係機関へのポスター掲示を依頼した。
- ・民生委員協議会において、児童虐待のパンフレットを配布した。

■令和4年度に向けての改善方法等

- ・児童虐待に関する周知啓発活動の実施
- ・児童虐待に関する講座や研修会の実施の検討

3. 重点プロジェクトの進め方

毎年度開催される釜石市子ども・子育て会議において、指標と役割分担の進捗状況を確認し、進捗状況に応じて、取組の改善を行うように検討します。検討の流れは以下を想定します。



※取組指標の状況確認、改善方法の検討、改善方法の提案、見直し案についても、可能な限り子ども子育て会議を活用して実施することが望ましいですが、会議回数の制限があるため事務局がたたき台を事前に作成します。